

法政大学第一高等学校同窓会会報

発行人 大石勝康 (同窓会会长) 2002年(平成14年)4月25日(木) [発行] 第27号 (題字は森田 勉校長)

編集人 斎藤利彦 (同窓会広報委員長) ホームページ <http://www5.biglobe.ne.jp/~Hosei1OB/>

発行所 法政大学第一高等学校同窓会 〒180-0002 武藏野市吉祥寺東町3-5-7 Tel.0422-20-8151

印刷 社会福祉法人・東京コロニー 東京都大田福祉工場 発送管理 コミナミ印刷株式会社

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり、連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。
(規約第2条)

歴史的転換期に教育研究の質的向上を目指す法政大学

その付属校の意義!



同窓会会长

大石勝康

二〇〇二年四月、新年度を迎える会員の皆様にはますます健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十年十一月に発足いたしました学校主催の「ホームカミングデー」も昨年十一月第四回を迎えた高校二十一期から三十期までのOB諸兄約百名、並びにご退職なさいました教職員十五名の先生方にもご臨席いただき、和氣藪々の内に盛大な懇親会を行うことができました。皆様方のご協力に厚く御礼申し上げます。

また、今年二月二十五日に行われました法政大

学卒業生評議員選挙に際しましては、皆様の絶大なるご支援により、経営学部同窓会会长の河端照孝氏と応援団OB会会長の神沼邦彦氏(共に高十一年期卒)の二名の法政一高卒業生が四位と六位の上位で当選することができました。これも偏に同窓会の皆様の温かいご支援とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

今、法政大学では役員の任期満了に伴う選挙が行われております、その中でも「ホーメカミングデー」が二月十八日に告示され清成忠男現総長が立候補いたしましたが立候補者が一名のため、選挙を行わず清成忠長が当選されました。清成忠長は、二期六年間、法政大学の地位向上につとめ、社会的に注目を集めることに成功しました。法政大学は現在、私立大学五百校中のトップ2%~3%に位置しています。これは私立大

のなかで最も教學改革に熱心な大学との社会的評価の結果です。また、大学と付属校間の連携が深まり、付属校の校長理事が実現し、付属校生の有資格者全入が制度化されるなど、大学と付属校の関係が強まりました。これからも大学の付属校という利点を生かし、中・高・大の連携を大切にしながら、付属校として特色ある教育内容を打ち出せましょう。

清成総長は、大学報の巻頭言で、大学はいま歴史的な転換期に立っています。国立・公立・私立といった設置形態を問わず、大学の統合・再編の時代が到来している。

国立大学の統合・再編と法人化によって、国立大学の体質転換が進むと思われ、同様に、公立大学の法人化も進むであろう。その結果、学校法人と国公立大学法人の競争激化が進展するであろう。

このような大学間競争のなかで生き残るためには、教育研究の質的向上以外に方法はない。多くの分野において、他大学に勝るとも劣らない、独自で質の高い

教育研究を展開しなければならない。と述べられておりま

ります。このようなことを踏まえ、我々も付属校としていかに対応すべきかを早急に考えが必要がありましよう。

このように一高にとっては、きわめて重要な時期です。山上校長先生が、この三月末日をもつてご勇退なされることは、誠に惜別の思いでいっぱいございます。

山上校長先生は一九六〇年、法政一中高にご奉職になられ、爾来、今日まで四年間は校長先生として、また、付属校代表の理事とお預りいたしました。



私は一九六〇(昭和35)年、

同窓会の今後の運営につきましては、地道に次の諸事項の遂行を図つてまいります。

同窓生の皆さん、お元気でしようか。

皆さんは時代の風を受けながら、それぞれが、それぞの場所で頑張つておられるのだと思います。

法政一中も二十一世紀の国民の教育要求に応えられる学校づくりをめざし、少子化の風の中、頑張つて

水量豊かな流れ
…校長退任の挨拶を兼ねて…
前学校長 山上英男

一、組織の強化拡充(会員の掘り起こしと住所の解説)

二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千円、一万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)

三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実(小人数の会合でも結構です、ご寄稿ください)

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたしましょう。

同窓会も応援します。

同窓会の今後の運営につきましては、地道に次の諸事項の遂行を図つてまいります。

今後も同窓会の発展に努力を重ねてまいる所存です。会員の皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千円、一万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)

三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実(小人数の会合でも結構です、ご寄稿ください)

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたしましょう。

同窓会も応援します。

同窓会の今後の運営につきましては、地道に次の諸事項の遂行を図つてまいります。

二、会費の徴収やご寄付による財務の安定化(会費お振込みの際五千円、一万円のご寄付を頂き深謝申し上げます)

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたしましょう。

同窓会も応援します。

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたしましょう。

同窓会も応援します。

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたましょう。

は、既に、副校长の森田勉先生が決定しており、一気に若返りますが、経験豊富でリーダーシップが發揮できる森田新校長先生に大きい期待いたしましょう。

校長就任にあたつて

一 中・高校長 森田 勉



本校に奉職し四二年の歳月を刻んできました。歳月はしかし私の記憶の中で圧縮され、すべてが昨日のことのように思われ、まさに「一炊の夢」のようです。

中学で、あるいは高校でクラス担任として父母共々深く関わった生徒たち、フエンシング部で寝食を共にした生徒たち、生徒会や行事の実行委員会で苦樂を共にした生徒たち、そして卒業後の関わり、いろいろな関わりを持った人の顔が走馬灯のように去来します。これらはすべて母校・法政一中高から出た流れとして、同窓会の大河をかたちづくるのだと思います。

縁があつて、この一年は、法政女子の校長を兼任し、女性ばかりの同窓会にも関わり、同窓会の大河は、より豊かな景観を見せつつ、流れ下つているように思えます。

これはこの三月で校長の職を退任いたしました。わずか四年でしたが、多くの生徒・父母・教職員・卒業生の、そうした情熱に支えられ励まされてきた期間でした。この紙面を借りて同窓生の皆さんに感謝申し上げます。

これからも、この流れは絶えることなく続くでしょう。来年度以降の後任の校長と副校长も決まり、タスクはしっかりとつながれました。歴代の見識豊かな先生方の後を受け、その大役の重さに身の引き締まる思いでございます。実は、

正直に申し上げますと、身の縮み上がる思い、と言つた方が正確かもしれません。しかし、私の座右の銘は、「随所に主となれば立つ処皆真なり」ですので、これも同窓会の発展、いわば、本当に

わたる熱い(ホットな)ご援助があつて初めて可能になるものと思われます。

私が、本校で非常に誇りにしていることの一つに、法政の校歌があります。

「若き我等が、…」を歌うたびに勇気が漲つてしまいります。「良き師よき友つどい結ベリ」という一節が歌詞の中では、とても安心感を持てることがあります。そこでその関係の中で支えられ、自信と安心感を持つことができます。

ここにあること、そしてその精神で、前向きに精進努力していく所存です。

神沼 邦彦 (第十一期)
法政一高同窓会会員の皆様には、益々
ご健勝のことと、存じ上げます。

この度行われました、法政大学卒業生
評議員選舉に際しましては、大石勝康同
窓会長に際しましては、大石勝康同



神沼 邦彦 氏



大石 勝康 氏

元気があります。皆様のご協力、ご支援
を頂きながら、今回同時に当選した一高
での同級生、河端照孝君とともに、法政
大学、法政一高のより一層の発展のため
に、尽くして参りたく、今後ともよろし
くお願ひ申し上げます。

私は彼と3年間、同じクラスの席も隣
で一高時代を過ごしました。文字通りの
校歌の一節「良き師良き友つどいむすべ
り」の高校生活でした。また、この数年
間、山上校長と一緒に大学理事会で数々
の問題処理や教育環境整備等について、
理事・監事手を結んで仕事を進めてまい
りました。

今後、益々進む少子化とIT教育の普
及は学校そして教育のあり方をこれまで
の姿とは異なった形にしていくことでしょ
う。一・二中高も女子中高も高速通信網
が敷かれ最新のITシステムによる教育
も始まるとしております。教室内の環
境整備もスピードアップしないといけま
せん。

お陰様で、31名中、6位の
高位で当選させていただきま
した。心より御礼申し上げま
す。

経済不況、少子化等、学校経
営は大変難しい環境になつて
おりますが、幸いにも法政大
学は、現在のところ、大変に

この原稿が刷り上がる頃には、理事選
挙も結果が出ている頃ですが、私は自己
の非才も省みず出馬いたします。

恩師の明石信夫先生を始め山上、森田
両校長先生の励ましのお言葉。

級友の神沼君より「今回の理事選は自
分の選挙以上に頑張る。21世紀法政の大
事なスタートだ」。大石会長より「私の
監事と君の理事のダブル當選だ。法政の
改革は一中高同窓会から始まるのだ」と
お言葉を聞いているうちに力が湧いて
きました。

そういえば神沼君も応援団OB会の新
会長に就任しています。
ともかく母校の恩師、旧友、仲間の温
かい言葉、心から有難く思っています。
ありがとうございます!

河端 照孝 (第十一期)
今度の法政大学評議員選挙で神沼邦彦
君とともに当選させていただきました河

端です。

シリーズ 活躍する一高OB (3) 野球仲間で創った会社

受付カウンターに大きな
カッピングが置かれている。案

の仲間が集まり昭和53年に
設立された空調関連機器の

商社で、平成13年に小林氏
が社長に就任された。

この会社のユニークな所
はマンツーマン人事システ
ムだ。

広々とした社内に清潔感
と心地よい緊張感が漂う。

小林国甫氏(16期)は、
シリーズ3回目は、三州株
式会社小林国甫社長訪問し
た。

一高硬式野球部のキャプテ
ンを務め、大学野球部に進
まれてからも、師に松永怜

ー監督(現JOC理事)を
仰ぎ、1年後輩の魚躬彦十
郎氏(三州株式会社専務)、
田淵幸二氏(現阪神タイガ
ースチーフ打撃コーチ)等と
共に、東京六大学野球で活
躍された。

三州株式会社は野球好き
の元気があります。皆様のご協力、ご支援
を頂きながら、今回同時に当選した一高
での同級生、河端照孝君とともに、法政
大学、法政一高のより一層の発展のため
に、尽くして参りたく、今後ともよろし
くお願ひ申し上げます。

なかなか出来ないこと
である。

帰り際、小林社長自らエ
レベーターまで送ってくれ

るような、体育会系の爽や
か社風であった。

(取材 II高19期 手塚祥司)

教職員人事異動

矢部亜希子先生 (英語)
一九九七年より英語科専

任教員として勤められまし
たが、この度一身上の都合
で退職されました。

福田有紀先生 (養護)
一九九七年より専任養護

教諭として勤められました
が、この度一身上の都合で
退職されました。

△校長

山上英男先生

一九六〇年に専任教員と

して就任され、爾來四二年
にわたり、一中高に大きな
足跡を残されました。

一九九八年から校長に就任
され、昨年度は女子高校長
および付属校担当理事とし
ての重責を果たされました。

一九九八年から校長に就任
され、昨年度は女子高校長
および付属校担当理事とし
ての重責を果たされました。

△新校長
森田 勉先生

四月一日付で校長に就任

されました。

△副校长
吉川 司先生

四月一日付で副校长に就
任されました。

帰り際、小林社長自らエ
レベーターまで送ってくれ

るような、体育会系の爽や
か社風であった。

平成13年度事業報告書

総務委員長 中島 康孝

(平成13年)

- 4月 7日 法政大学第一中学校・高等学校の入学式に役員参列
- 4月13日 現校舎老朽化の為、新築・改築・移転など検討のために、まず、都心地(有明地区)視察
- 4月14日 12年度住所の判明者・不明者・永眠者・移動者260名の整理終了
- 5月 2日 会報発行、印刷(東京コロニー)封入・出力(小南印刷)インターネットでホームページを手塚広報副委員長担当
- 5月 8日 法政大学校友会より、付属校も大学各学部と同調して校友連合会に入る様にとの説明会あり、大石会長・鈴木副会長出席
- 6月 5日 小南印刷株副社長が打ち合わせの為、北海道・札幌市より来訪
- 6月20日 クラス委員総会をボアソナードタワー25階で行う、参加者50名
- 7月22日 同窓会事務局にノート型パソコン購入
- 8月11日 法政一高対法政二高の野球部OB会が第一回の親善試合を行う、田淵幸一氏(一高)、村上氏(二高)、元大リーガーも参加

- 9月22日 第4回ホームカミングデー打ち合わせ、案内状印刷・郵送は同窓会が負担する
- 9月29日・30日 法政一高プラタナ祭
- 10月11日 ホームカミングデー案内状1,790通発送
- 11月25日 第4回ホームカミングデー(第21期~30期)110名参加
- 12月21日 第17回法政大学付属校同窓会役員懇親会の案内状を発送

(平成14年)

- 1月 9日 同窓会役員の新年初会議に山上校長・森田副校长をお迎えする
- 2月23日 第17回法政大学付属校同窓会懇親会を高輪プリンスホテルにて44名が参加して行われた、主催校一高、次回は二高が担当
- 2月25日 法政大学評議員選挙が行われ一高OBの河端照孝・神沼邦彦氏が当選(両氏共昭和34年卒)
- 3月 7日 新卒クラス委員に同窓会への協力説明会に役員5名出席
- 3月 8日 法政大学第一高等学校卒業式役員4名出席
- 3月15日 法政大学第一中学校卒業式役員2名出席

法政一高同窓会 平成12年度収支決算書

科 目		収 入 の 部			13.6.20
款	項	予算額	決算額	差 異	(単位 円)
継越金		7,149,303	7,149,303	0	
会 費		3,295,000	3,402,600	△ 107,600	
(イ) 入会金		873,000	813,000	60,000	271名×3千円
(ロ) 新人会費		582,000	542,000	40,000	271名×2千円
(ハ) 年会費・賛助		1,600,000	1,884,600	△ 284,600	会員883名より振込等
(ニ) その他会費		240,000	163,000	77,000	委員会委員会員会員登録料
雑 収 入		100,000	478,489	△ 378,489	預金利息、名譽記念品等売上
継入金		50,000			
継 入 金		50,000	0	50,000	
計		10,594,303	11,030,392	△ 436,089	

法政一高同窓会 平成13年度収支予算書

科 目		収 入 の 部			13.6.20
款	項	予算額	内 訳		(単位 円)
継越金		7,820,639			
会 費		3,325,000	新入会員予定269名と既会員分他		
(イ) 入会金		807,000	(イ) 新卒業生入会金 269名×3千円		
(ロ) 新人会費		538,000	(ロ) 新卒業生年会費 269名×2千円		
(ハ) 年会費		1,800,000	(ハ) 既会員年会費 900名×2千円		
(ニ) その他会費		180,000	(ニ) 預金・委員会等出席者 貢献費 60名×3千円		
雑 収 入		100,000	預金利息、テレカ等売上		
継入金		50,000			
継 入 金		50,000			
計		11,295,639			

支 出 の 部		(単位 円)		
科 目	款	項	予算額	決算額
経常費			1,370,000	1,400,966
(イ) 学校協力費			300,000	634,443
(ロ) 会 議 費			200,000	165,372
(ハ) 組織活動費			400,000	150,000
(ニ) 印 刷 費			50,000	16,636
(ホ) 通 信 費			50,000	39,680
(ヘ) 人 件 費			300,000	300,000
(ト) 事務用品費			20,000	7,140
(チ) 雜 費			50,000	87,695
事業費			2,000,000	1,808,787
(イ) 会報発行費			1,700,000	1,641,412
(ロ) 委員総会費			300,000	167,375
予備費			50,000	0
予備費			50,000	0
小 計			3,420,000	3,209,753
次年度継越金			7,174,303	7,820,639
合 計			10,594,303	11,030,392
				△ 436,089

支 出 の 部		(単位 円)		
科 目	款	項	予算額	内 訳
経常費			1,350,000	
(イ) 学校協力費			500,000	(イ) 学校主催行事、生徒部活動、卒業生贈り物等
(ロ) 会 議 費			180,000	(ロ) 委員会、各委員会、会計監査等
(ハ) 組織活動費			200,000	(ハ) 名簿振り出し作業、付属校懇親会、同期会参加費等
(ニ) 印 刷 費			20,000	(ニ) 決算、予算、一般会議資料の印刷費
(ホ) 通 信 費			50,000	(ホ) 会議開催通知、資料送付等
(ヘ) 人 件 費			300,000	(ヘ) 事務局員手当
(ト) 事務用品費			20,000	(ト) 事務用品等
(チ) 雜 費			80,000	(チ) 庁用費及び振込手数料等
事業費			1,900,000	
(イ) 会報発行費			1,700,000	(イ) 第25号同窓会報
(ロ) 委員総会費			200,000	(ロ) 委員総会開催費(50名×4千円)
予備費			50,000	
予備費			50,000	
小 計			3,300,000	
次年度継越金			7,995,639	
合 計			11,295,639	

二〇〇二年度 入試を終えて

入試委員会 上原伸一

二〇〇二年度入試は、二月二十二日の高校推薦入試を皮切りに、二月三日の中学入試、二月十日の高校一般入試と順次行われました。

急激に進む少子化の影響や長引く不況、さらに公立学校の巻き返し策など私学全体を取り巻く環境は今年も好転せず、非常に厳しい状況が続いています。

そのような状況の中ですが、今年度も本校では中学・高校とも大きな受験者数の減少は見られず、比較的安定した中で入試を行うことができました(表1参照)。

とくに高校推薦入試では、一昨年行つた制度改革が公立の中学校の間で浸透し、昨年を上回る受験者数となりました。本校を第一志望とする優秀な生徒が次第に増えてきているという状況は、好ましい状況だと考えております。

またここ数年の入試の特徴としては、合格者の中に占める入学手続者の割合(定着率)が、若干の変動はあるものの、高い率で推移しているということがあげられます。これは、受験生一人あたりの受験校数が減ってきているというこ

も理由としてあげられます。本校を第一志望で受験している生徒が増えてきているということが理由だとも考えられます。

第一志望の生徒をより多く確保するためには必要なPR活動や広告・宣伝は、これからも積極的に行っていく予定です。雑誌やインターネットなど様々な媒体を利用していふのは当然ですが、何よりも一番効果が大きいのは、友人・先輩といった身近な卒業生や在校生から薦められるというケースです。

受験時に提出してもらつて

いるアンケート結果などからも、これらのこととは明らかになつてきます。このよう

表1 2002年度中高入試状況

	中 学	高 校			合計	
		推 薦	一 般			
			A	B		
募集定員	105	73	74		147	
出願者数	472	99	123	189	5 416	
受験者数	389	99	107	186	3 395	
合格者数	167	73	28	74	2 177	
入学予定者数	106	73	10	74	1 158	

高校入学予定者数は法政1中卒業生111名を含めると269名になります。

表2 2002年度 法大推薦学部・学科別一覧

学部	学科	第一部	第二部	学科計	学部計
法	法律	33	3	36	44
	政治	7	1	8	
文	哲	2		2	30
	日本文	7	1	8	
	英文	9		9	
	史	5		5	
	地理	4		4	
	教育		2	2	
経済	経済	18		18	24
	国際経済	6		6	
社会	社会政策	4		4	29
	社会	14		14	
	メディア社会	11		11	
経営	経営	34		34	34
国際文化	国際文化	11		11	11
人間環境	人間環境	11		11	11
現代福祉	現代福祉	8		8	8
工学部	機械工	8		8	47
	物質化	2		2	
	情報電気電子工	2		2	
	電子情報	6		6	
	システム制御工	6		6	
	土木工	6		6	
	建築	7		7	
	経営工	10		10	
情報科	コンピュータ科	5		5	11
	デジタルメディア科	6		6	
計		242	7	249	249

2002年2月28日現在

卒業予定者 269名



今回で54回目をむかえた、
プラタナス祭は、9月末の
土曜日に盛大に開催され
ました。例年以上
に生徒たちも頑張
りを見せ、毎日遅
くまで丹念に作業
を進める姿が各教
室で見られました。

また、今年度は文
化祭の10日ほど前
から、学校近隣や
通学路を、箒と塵
取りを携えた生徒
たちがグループに
分かれて清掃して
回りました。通り
がかりに声をかけ
ていたなど、生徒た
ちも自分たちの活動
を評価されて、自信を持つ

プラタナス祭

たようでした。その成果も
あってか、両日併せて一万人近くの方に法政一中高生
徒のひたむきな取り組みを見て頂く
ことができました。

中学では、「パラダイス(極楽祭)
く終わらない夏」
というスローガン
のもと、装飾や屋台村に雰囲気を出
しながら、一丸となつて全力投球し
ていました。細やかな作業を積み重ねた内装、学校全體を会場にした犯人探しゲームなど、生徒たちも自分たちの活動を評価されて、自信を持つ



随所に中学生らしい輝きが見えて取れました。オープニングや後夜祭ではお客様と一緒に声をかけたり、生徒たちも自分たちの活動を見せてくれました。



一・二高野球部対抗試合より 前列右から大石会長、田淵阪神コーチ、筆者、松永先生

高校では、幅広い層の方々に楽しんでもらえるよう工夫を凝らしながら、理科実験室を使つた大規模なお化け屋敷や、プラネタリウムなど高校生ならではのスケールの大きさで各クラスが賑わいました。中庭や体育館

で行われた中央企画も、音響や照明を駆使した本格的な企画が目白押しで、訪れた多くのお客様をひきつけるに十分のものを、いくつも見せることができたようです。

自分たちのやりたいことばかりに向くのではなく、法政一中高の文化をしっかりと見ていただきことを意識した活動にできたことが、今年のプラタナス祭の大きな収穫でした。「自律」した企画運びが、彼らの大きな達成感、喜びにつながったのだと思います。

来年度も、これまでの積み重ねを活かして、さらには飛躍したプラタナス祭が展開できるように、日常の生徒会活動を大切に、準備を進めていきたいところです。来年度の文化祭準備はそろそろ始まっているようです。

西田先輩(昭和35年卒)の開口一番、今のままだと野球部が廃部になる、OBが結束し野球部を支え学校側に存続を申し出よう。

西田先輩以降のOBが愛好会と名乗り野球部存続の為協力し合い学校側から理解を得た。そして轟木先生にお世話頂き24年ぶりの春・夏連続甲子園出場にながつて行くのだ。

甲子園出場を期に会も旧OB会と一本化し晴れてOB会を名乗り野球部を物心両面で支えている我々は、名門OB会を自負している。

硬式野球部OB会の歴史

OB会長 小林國甫

(昭和39年卒)

一高野球部は、昭和13年創部、64年の歴史を有し春・

夏各2回合計4回甲子園出

場し球界では名門校と知ら

れています。

この名門野球部も、存亡

に春・夏と二度甲子園に出場させて頂いた監督の松永先生が、堀越高校の野球部監督に転籍された。

それ以降有志のOB監督が手弁当で、何とか支えてきたが学校側の協力を得られず、野球部は衰退の一途をたどつた。

昭和48年のある日、早川先輩(昭和35年卒)から集合がかかり集合場所に行くとOB有志が集まつてい

た。

西田先輩(昭和35年卒)の開口一番、今のままだと野球部が廃部になる、OBが結束し野球部を支え学校側に存続を申し出よう。

西田先輩以降のOBが愛好会と名乗り野球部存続の為協力し合い学校側から理解を得た。そして轟木先生にお世話頂き24年ぶりの春・夏連続甲子園出場にながつて行くのだ。

甲子園出場を期に会も旧OB会と一本化し晴れてOB会を名乗り野球部を物心両面で支えている我々は、名門OB会を自負している。

同窓会クラス委員会(高54期)

新入会

された高校54期の方たちの、同窓会クラス委員が左記のように決定しました。

期の方たちの、同窓会クラス委員が左記のように決定しました。



HOSEI だより

一中・一高・校内情報

中高スキー部

顧問 小林邦久

現在、スキー部員は中高合わせて28名います。冬(12月)には北海道ニセコで合宿を行い、中高とも大会予選に備えて練習をしています。アルペン競技の回転(スラローム)と大回転(ジャイアントスラローム)を中心滑走練習を行いますが、3月の春合宿(梅池高原)ではSAJ技能検定(級別バッチテスト)も行い、スキー技術の向上を目指しています。

O.B.の皆さんもプラタナス祭、ホームカミングデー、対外試合の応援等で一緒に校歌を歌いましょう。

走り込みなどを行い、シーズンオフはザウスでの滑走練習を行っています。

3月末に行われる南関東プロックジュニアスキー大会に全員で出場してシーズンが終わります。

ですが、部員一人ひとりが自分のスキー技術を向上させ、さらに大会では上位を目指して現在頑張っています。

アイスホッケー部

顧問 余宮 賢



今年シーズンは、中学2年生の茂木君が、全国中学校スキー大会東京都予選会で回転2位、大回転3位という好成績で両種目とも全国大会に出場し、2年生ながら回転で39位という成績を残しました。また、昨シーズンのバッヂテストでは、1級2名、2級10名の合格者を出しました。今シーズンも上の級の取得を目指します。

学校内での練習は、ローラーブレードを使ったポールのイメージトレーニングや、筋力トレーニング、

から来る経験者等に対抗するための組織力が求められる。そういった基盤を作る

年度として、今年度、来年度の取り組みを重視している。

年度として、今年度、来年度の取り組みを重視している。

山岳部

山岳部部長 岡松佑樹

となる。現に今年度の負傷者は例年をはるかに上回り、改めてアイスホッケーの激しさを痛感することとなつた。練習時間に付いても現在の氷上練習では十分とは言えないので、会員はゼロ人という状況です。ラーメンを作つて新入生を呼び込もうという計画しましたが、残念ながら失敗に終わりました。この反省をいかして、来年は絶対、新入生を入れさせたいです。そのためには、

早くから計画を練り、ボスター作りなどに取りかかる必要がありましたが、新入部員獲得を目指して先輩達と協力して部誌を作りました。内容は今年一年間の活動内容や法政一高山岳部のあり方などをまとめました。この部誌を見ればすぐに山岳部とい



かつてもらえるはずです。また、僕ら自身が読んで笑えるものとなりました。

山行は七回行い、一年を通して充実した活動を送ることができました。夏合宿は、南アルプスの北岳へと行きました。北岳から見る富士山や農鳥岳からの日の出を堪能しました。思わぬアクシデントもありました

が、思い出に残る山行となっていました。また二月にはクロスカントリースキーを行いました。同年にはクライミングで雪野原を楽しく滑りました。来年の抱負として、山岳部は様々な山に挑戦していくたいと思っています。

アシスタントもありましたが、富士山や農鳥岳からの日の出を堪能しました。思わぬアクシデントもありました

が、思い出に残る山行となっていました。また二月にはクロスカントリースキーを行いました。同年にはクライミングで雪野原を楽しく滑りました。来年の抱負として、山岳部は様々な山に挑戦していくたいと思っています。

文学研究会



活字離れが進んでいるた
めか、文化部の中でも特に
部員数が少なく、生徒もど
ちらかというと内気な子が
集まりがちです。そのため、
部としては地味ですが、少
人数ながらも、創作活動を
主とし、文化祭には作成し
た冊子の配布などを行なつ
ております。

高校生の小説ではあります
が、3年間書き続ける中
で、ゆっくりと、しかし確
実にレベルアップしていま
す。

演劇部

文学研究会の冊子、文化
祭に遊びにいらした時には
ぜひ、手にとって目を通し
ていただきたいと思います。

成長は作品だけに限りま
せん。かつては周囲から
「あんなに内気で大丈夫か
など……」と心配された生徒
が、自己主張ができるよう
になるなど、その成長振り

とであり、同時に自己の
創造もあるからでしょう。
また、互いの作品を仲間同
士で読み合うことも、「認め
合いながら、互いに刺激
する」ことになり、彼らの
成長の源になっているよう
です。

今年度の演劇部は残念な
がら事実上活動ができず、
一度も公演するに至り
ませんでした。部員は高三
が一名のみ、高二是数名、
高一はゼロの状況で、学年
間の意志疎通の難しいのは、
いつももまして大でした。

演劇部が発足したのは七、
八年前のことです、その設立
趣意は「本校の文化部活動
の停滞は憂うべき状況にあり、
そのため本来の青年の

刺激を与え、時流に迎合せ
ます。

軽音楽部

現在は、現況を憂え、志
せん。かっては周囲から
「あんなに内気で大丈夫か
など……」と心配された生徒
が、自己主張ができるよう
になるなど、その成長振り

成長は作品だけに限りま
せん。かつては周囲から
「あんなに内気で大丈夫か
など……」と心配された生徒
が、自己主張ができるよう
になるなど、その成長振り

以外は個人練習をしていま
す。みんな学校生活や普
通的な空気を本校に醸成す
るための一助となりたい」
というものでした。当初は
そのような意識の高い層が
各学年に何人か存在し、毎
年、程度の高下はあります
が、活動公演を続けて来まし
た。中には、一般観客を感じ
たり、卒業後も、演劇の道に
進んだ者もいます。文化部
停滞の状況は本校のみなら
ず、どうも全国的にもその
傾向が見られるようですが、
その背景には日常的な知的
文化的なものへの関心や向
上意欲の低下があると思いま
す。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

ゴルフ部

部長 小林陽介

ド合戦などです。この大会
で輝かしい賞を頂いた先輩
も数知れず…。

軽音部はこんな部活です。
イベートではバカやつてま
す。本当に音楽を好きな奴
しかいません。その音楽好
きを最高に表現出来る時が
年に四回のライブなのです。

まず一年の最初に演奏す
る法政女子との合同ライブ
です。このライブは本当に
毎年恒例となっています。
まず一年の最初に演奏す
る法政女子との合同ライブ
です。このライブは本当に
毎年恒例となっています。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

毎年スゴイ盛り上がりを見
せていました。そして約三ヶ
月空いて八月の夏ライブで
す。このライブは他校との
交流を深める事を目的とし
て行っているものです。過
去には、立教女学院・青山
学院・都立石神井高校など
とROCKしてきました。
そして、三年生が引退とな
れを期して、来年度以降の活
動を待ちたいと思います。

編集後記

高37期の萩原君が加
わり、編集活動も活
氣が出てきました。

多角的な広報作りを
目指しますので、同

窓活動についての情
報をお読みください。

お寄せ下さい。

（高3期 赤沼啓一郎）